



令和 8 年 2 月 2 日
港湾局 海洋・環境課

令和 7 年度第 2 回
「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」の開催
～ブルーカーボン生態系の活用に向けて～

国土交通省では、脱炭素社会実現への貢献を目指し、CO₂吸収源の新しい選択肢として注目されるブルーカーボン※¹の活用に向けた具体的な検討を進めるため、「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」※²を開催しています。

今回の検討会では、ブルーカーボンの活用拡大や広報について議論する他、ブルーカーボンの計測システムであるブルーカーボンデータアーカイブシステム（通称：BDAS（ビーダス Blue carbon Data Archive System））の開発状況などを報告いたします。

※¹：海洋生態系によって吸収・固定される二酸化炭素由来の炭素。

※²：「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」は、港湾におけるCO₂吸収源対策として、ブルーカーボンを活用していくための具体的な検討を行うことを目的に設置しています。

1. 日 時： 令和 8 年 2 月 9 日（月）13:30～15:30（予定）
2. 場 所： 中央合同庁舎第 3 号館（東京都千代田区霞が関 2－1－3 10F 会議室）
3. 主な内容： ・ブルーカーボンの活用拡大・広報について
・報告事項
4. 委 員： 別紙参照

○検討会については非公開とし、報道関係者を対象に冒頭のみ撮影可とさせていただきます。

○検討会終了後、同会場にて記者ブリーフィングを実施予定です。時間は15:30開始の予定ですが、議事の進行によっては前後する可能性もあります。

○取材または記者ブリーフィングへの参加を希望される方は、2月5日（木）までに以下のメールアドレスに、氏名（ふりがな）、所属、連絡先（電話番号、メールアドレス）をお送りください。

・送付先：地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会事務局
一般財団法人みなと総合研究財団

河野：kono★wave.or.jp 港：minato★wave.or.jp（※「★」を「@」に置き換えてください。）

※取材については各社1名とさせていただきます。

※取得した個人情報適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

○配布資料、議事概要については、後日、以下の国土交通省ホームページにて公開する予定です。

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk6_000069.html

【問い合わせ先】

港湾局海洋・環境課 山田、小松崎

TEL:03-5253-8111（内線 46654、46682）、03-5253-8685（直通）

地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会

委 員 名 簿

〔敬称略・順不同〕

〔委 員〕

木場 弘子	フリーキャスター・千葉大学 客員教授
木村 尚	NPO法人海辺つくり研究会 理事
桑江 朝比呂	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸環境研究領域長
佐々木 淳	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授
佐藤 淳	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主任研究員
中村 圭吾	国立研究開発法人 土木研究所 流域水環境研究グループ長
堀 正和	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター 社会・生態システム部 沿岸生態系暖流域グループ長

〔行政関係者〕

経済産業省
農林水産省
水産庁
国土交通省
環境省

〔オブザーバー〕

ジャパンプルーエコノミー技術研究組合
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
横浜市
福岡市

〔事 務 局〕

国土交通省 港湾局 海洋・環境課
一般財団法人みなと総合研究財団